

県内学級担任紹介

日々、児童生徒のよりよい成長を願い、魅力溢れる授業実践や学級経営を行っている先生を紹介します。その先生が日々の授業や学級経営を行う上での根幹となっている考え方、またよりよい実践のためにどのような工夫をしているのか、その秘訣も紹介します！

学校名： 野田市立北部中学校



担任名：前田 美波
教員経験：5年目

(令和7年5月1日現在)

学級経営で取り組んでいることや「やりがい」

「全員で」を合言葉に、ひとり一人を大切にできる

「温かい学級づくり」を心掛けています。

誰に対しても丁寧に接していくと少しずつ心が打ち解け、「誰一人取り残さない雰囲気」が学級に広がり、やりがいを感じます。

授業で心掛けていること

「楽しくなければ体育じゃない」。私が2年目のときに先輩から言われた言葉です。運動が苦手な生徒でも楽しいと思える授業・自発的に動きたくなる授業・できたと実感が持てる授業を心掛けています。

私の好きな「こ・と・ば」

「一生懸命だと知恵が出る」前向きな言葉を意識して生活するようにしています。うまくいかないことがあっても「何事も経験」と考えて前に進みます。

【温かい学級に向けて】

① 学級目標

クラスの全員の想いが込められた学級目標にするため、KJ法※を用いて決めました。それを学級に掲示し、定期的に活用しています。

② 生徒の温かい活動を記録

生徒の温かい活動を評価して「ありがとう」という掲示物を作成しています。

この掲示物を見た生徒が仲間のよさに気付いたり、仲間に認められるきっかけになったりしたらいいなと思っています。

③ 日々の会話

生徒同士で「会話・対話」ができるように問いかけています。現在、主体性を育む学級活動や議論する道徳を研究中です。

『KJ法を用いた学級目標』 ↓



↑ 『ありがとう』の掲示物

※アイデアをふせんに書き出し、それらをグループ化して整理・分析することで、新たな発見や問題解決の糸口を見つける手法